

介護老人保健施設加瀬ウェルネスタウンです。



リハビリスタッフ（施設玄関前にて）



リハビリスタッフ（リハビリホールにて）

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当施設は、介護老人保健施設・通所リハビリテーション・クリニック・居宅介護支援事業所・保育園が併設された複合施設です。また、仙台市泉区にウェルネスガーデン紫山という、短時間でマシントレーニングを中心としたデイサービスを経営しております。
- ・施設はタウンと名前が付くとおり、全体で町が形成されています。入所・通所の方が、カフェやだしがや、図書コーナーなど、自分の好きな時間に利用し、自分の時間を過ごしておられます。
- ・理学療法士6名、作業療法士4名、言語聴覚士2名、リハビリ補助1名が在籍しております。
- ・入所では、10名を1つの単位としたユニットケアを取り入れ、家庭的な雰囲気を目指しています。個別リハビリの他、認知症等で拒否が強い方は集団リハビリなどで声掛けを工夫しながら、運動の機会を作っています。
- ・通所では、個別リハビリだけでなく、現在の日常生活動作を継続できるように、生活の中で行う動作を少しでも自分で行えるよう支援しています。職員が介入し、タオルたたみや、テーブル拭き、茶碗洗い等、出来ることを無理のない範囲で行っています。

＜リハビリテーションに関する連絡先＞

医療法人社団喜英会 介護老人保健施設加瀬ウェルネスタウン
住所：〒981-0111 宮城郡利府町加瀬字北窪 16 番 1
電話：022-349-1717 / ファクシミリ：022-349-1716

塩釜
地区

リハビリネットワーク通信

第9号

(平成29年10月発行)

発行元：
宮城県仙台保健福祉事務所
健康づくり支援班
022-363-5503（直通）

Qにお答えします

- Q. 診療所、老健、通所リハ、保育園と様々なサービスを行っていますが、複合的にやっているの利点や大変な点などはありますか？
(坂総合クリニック)
- A. 保育園児との交流が盛んに行われています。園児と一緒に七夕飾り作りや、お祭り等の行事も行います。
複合的だからといった特別な大変さは感じません。

バトンでつなごう

一問一答 ～紹介リレー～



次回：悠泉デイスports
さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

- Q. 利用時間が違う場合の利用サービスの工夫を教えてください。

リハビリ川柳

「著けてぬ『リハ』七年 いえるまで」(通所利用者様)

【解説】リハビリホールでの長い練習の末、ふたたびお箸で上手に食べられるようになりました。御本人曰く「食事前の準備運動」として、今でも八十六個の石を箸でつまむ運動を続けられています。

「継続は力なり 狭窄症が 逃げて行く」(紫山デイ利用者様)

【解説】三年前には「二キロ以上のものは持てぬ」ほど痛み、「家庭ゴミ 身にこたえます この重さ」と家庭の役割をこなしながらデイケアでの運動、特にスリング(天井から吊るされた二本のロープに体重をあずけてのストレッチ運動)を続けました。痛みが落ち着いた昨年は持ち味のボランティア精神を発揮して、町内会の班長を務めたそうです。

「『今行っから』 将棋マージャン 男の居場所」(作業療法士)

【解説】勝負が始まると、運動しましようとの誘いになかなか応じていただけなくなり、リハ職員はアタフタするこの頃。加瀬のデイケアにはそんな居場所がいくつかあるのです。